

信号のない交差点、“一時停止”見落とし

前方をよく見ていなかった 軽ライトバンと路線バスが衝突

2015年3月3日(火)8時21分

2日午後0時5分ごろ、山形県の交差点で、市内の女性パート従業員(32)の軽ライトバンと路線バスが衝突した。女性が右胸を打撲、バスの男性運転手(59)が首を捻挫する軽いけがをした。バスには3人の乗客がいたが、けがはなかった。警察によると、軽ライトバンが直進中、右から来たバスにぶつかった。交差点に信号機はなく、軽ライトバン側に一時停止の標識があった。同署は女性が前方をよく見ていなかったとみて調べている。

- 雪道がすべるのはあたり前、「すべること」を意識しましょう
- 路面状況に応じて、十分な車間距離を確保しましょう
- 天候・道路情報を収集し、危険な箇所・状況を判断しましょう

「見えない先には、何かがある」

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意!

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩!

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認/よ~し!」

- ◆左折時は、死角を認識し、安全確認
- ◆右折時は、対向車だけでなく、横断歩行者にも注意

自宅を出る前、会社を出る前、後方確認・周囲の確認

赤信号交差点、停止寸前の車両に追突事故注意

交差点 右折の保冷車と直進の幼稚園バス衝突

2015年03月3日 10:57

2日午前9時10分ごろ、千葉県の県道交差点で、運転手男性(43)の保冷車と幼稚園の送迎バスが衝突した。バスに乗っていた5~6歳の女児3人が頬に軽傷。同署によると、バスを運転していた同園職員男性(69)や同乗の職員女性、保冷車の男性にけがはなかった。保冷車が右折する際に対向車線を直進してきたバスの前面とぶつかった。バスは登園途中だった。

ドライブレコーダー 走行を妨げる運転の画像

観光バス運転手起訴せず

(2015/03/03 21:37)

奈良市で昨年9月、観光バスを運転中に急減速した前の車を追跡、運転していた会社員(50)を殴ったとして、傷害などの疑いで逮捕されたバス運転手(45)について、奈良区検が起訴しなかったことが3日、分かった。昨年11月4日付。捜査関係者によると、バスのドライブレコーダーに、会社員が約5キロにわたり、高速道路で急ブレーキをかけたり、一般道でも車線をはみ出したりするなど、バスの走行を妨げるような運転の映像が残っていた。運転手は容疑を認めしたが、奈良署は逮捕後にレコーダーの映像を確認。検察側も「あえて訴追する必要はない」として、運転手を起訴しなかった。

ひき逃げ死亡事件 トラック運転手の男を逮捕

2015年3月3日(火)13時29分

2月、東京都の首都高速で、男性がひき逃げされ死亡した事件で、トラック運転手の男が逮捕された。逮捕されたトラック運転手の男性容疑者(62)は、2月20日、首都高速で、バイクを運転していた会社員の男性(39)をトレーラーではね、逃走した疑いが持たれている。男性は、その後、死亡が確認された。容疑者は、容疑を否認しているが、事故後、都内の中古車買い取り業者にトレーラーを売却していて、前輪部分に人をひいた痕跡があったという。